

しあわせ南流

南流山地区社会福祉協議会
広報部事務局
会長 市川 誠
南流山 8-6-1-1-705
☎ 7140-7152

『いきいきシニアの会』

南流山小学校区にお住まいの 70 歳以上の方をお招きして演奏や演芸、昼食等を楽しんでいただく「いきいきシニアの会」が当地区社協主催・流山市後援で 11 月 3 日に南流山センターで開催されました。招待状(該当者数 1031 名)をお届けし、293 名の方にお楽しみいただき、会の終わりに「花は咲く」を全員で合唱しました。



南流山聖華保育園の園児さんのクリスマスの歌



南流山中学校の吹奏楽と合唱



南流山小学校の音楽部による演奏



カ・レイ・アロハ南流山のフラダンス



市長挨拶



南流山寿楽会の皆さんによる踊り



流山琉舞の会の踊り



舞踊「深川」(森田さん他)

会では流山市南部地域包括支援センターの出張相談も併設され、ご利用いただきました。会の運営にご協力いただいた南流山小学校、南流山中学校の児童、生徒を含むボランティアの皆様感謝いたします。

勉強会「介護保険と認知症」

高齢のご家族がご病気になった時など、介護保険の知識が安心につながる場合があります。一方、本紙第 52 号(平成 25 年 2 月)で認知症を解説しましたが、厚生労働省の推計によれば 65 歳以上の人口の約 10%が「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ」*以上とされます。南流山小学校区の人口約 1 万 3 千人(65 歳以上はその約 14%)から計算すると約 180 人となり、ご本人、ご家族が様々な面でご苦労されていることが想像されます。そしてご近所の皆様のご理解が大きな助けとなる場合があります。

介護保険と認知症について皆様のご理解を深めていただく場として下記の勉強会を開催します。事前の申し込みは不要ですのでお気軽にご参加ください。

「介護保険と認知症」

講師 : 南部地域包括支援センター
開催場所 : 南流山自治会館
開催日 : 平成 26 年 3 月 1 日(土曜日)
午後 6 時 30 分より 1 時間の予定
問合せ先 : ☎ 7140-7152(地区社協)

*: 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

災害時の障害者のサポート

オリンピックに続いて開催のパラリンピックから、障害者への関心をもたれている方も多いと思います。

阪神淡路大震災、東日本大震災で障害者が災害弱者として困難な状況となったことが伝えられています。大規模災害時の障害者の支援について市の具体的な取り組みはなく、また、そのような状況で即時に行政が対応することは困難なことが想像されます。そこで地域で障害者の支援を可能とすることが望まれます。

南流山小学校区では表1の身体障害児・者がお住まいです。そこで本号では災害時の障害のある方のサポートについて基本的なことを解説します。

表1 南流山小学校区身体障害児・者の人数

障害別	人数
視覚	11
聴覚	19
音声・言語	4
肢体	110
内部（心臓・腎臓等）	103
合計	247

（身体障害者手帳交付数、平成25年3月31日現在）

■ コミュニケーション

阪神淡路大震災では「あの家に障害のある方が住んでいるから」と救出に結びついた事例が報告されています。これは障害の有無に関係なく、ご近所同士の日常のコミュニケーションと信頼関係の構築が重要なことを伝えるものです。

流山市安心メールで災害の発生などが障害のある方にも伝えられますが、その後の安否確認や避難誘導がどのように行われるかなどは定まっています、障害のある方が不安を感じられている現状にあります。

障害のある方（そのご家族を含む）の地域の防災訓練などへの参加（自治会から声かけを含む）や、災害時のサポート（安否確認や避難誘導）についてご近所の方と事前に話し合いいただけたらと願います。

■ 障害による特性の理解

聴覚、音声・言語、内部障害はその人の外見からは障害の有無がわかりません。例えば呼びかけに対する返事がない場合、聴覚障害の場合があります。そのような面で心の準備をしていただければと願います。

なお、避難場所などでは障害のある方が誤解されないように例えば「耳マーク」（聴覚障害）などを他の方の見える位置に表示していただくことも有効です。

■ サポートの事例

障害者のサポートは障害の内容と状況で異なりま

す。そこで『防災のことを考えてみませんか（目の不自由な方のための災害時初動行動マニュアル）』（東京都福祉保健局 東京都心身障害者福祉センター）、『聴覚障害者のための防災マニュアル』（茨城県聴覚障害者協会）を抜粋・編集したものを次に紹介します。サポートの基本のご理解の一助となれば幸いです。

視覚障害者のサポート

支援していただける人を視覚障害者自らが見つけることはできません。支援者から名のり、「お手伝いできることはありますか？」とお声かけ下さい。

- ・ 誘導（移動の手伝い）する時はどのように誘導すればよいか（例：支援者の肩や腕に掴む）、視覚障害者に確認してください。
- ・ 周囲の状況を伝えながら誘導してください。トイレは個室まで誘導し、便器の向き、水の流し方、トイレトペーパーの位置などをお教え下さい。
- ・ 掲示物は読みあげて情報を伝えてください。

『防災のことを考えてみませんか（目の不自由な方のための災害時初動行動マニュアル）』（東京都福祉保健局 東京都心身障害者福祉センター）

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shinsho/saigai/saigaimanual/menofujiyuu.html>

聴覚障害者のサポート

災害時は大切な情報の多くが「音声」になるので、聴覚障害者にとって、必要な情報の入手が困難になります。

支援していただける方は、手話ができなくても、身振り、筆談、その他いろいろな複数の方法によってコミュニケーションをとってみてください。

- ・ 合図をしてから話しはじめてください。
- ・ 筆談の場合は、紙のほか、手のひら、空中（空書）に書く方法もあります。
- ・ 口の動きでも伝えてみてください。

「聴覚障害者のための防災マニュアル」（茨城県聴覚障害者協会）

<http://www.jfd.or.jp/tohoku-eq2011/ibaraki-manual-handbook>

学校サポートボランティア募集

流山市では学校教育活動の充実を目的に、保護者や地域の技能や特技を有する1735名の方が児童・生徒の指導等を支援する学校サポートボランティアとして登録・活動されています。

ボランティアの内容として活動補助、学習支援、環境美化、ICT支援があり、市内どの地域でも活動できる方は流山市教育委員会指導課窓口で登録、地域の学校で活動できる方は活動を希望する市内の小中学校で登録します。このような活動にご関心のある方、是非、ご協力ください。

【流山市教育委員会 ☎ 7150-6105】

学校サポートボランティアの募集 | 流山市

<http://www.city.nagareyama.chiba.jp/life/20/174/000948.html>